

重点(3) 特別活動の充実

※R7「下北の教育」(案)

一人一人のこどもが、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築いていくことができるよう、必要な資質・能力の育成に努める。

実践事項

★は、特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項

1 自主的、実践的な活動を展開するための全体計画及び年間指導計画の作成

- ・全教職員の共通理解の下、特別活動の全体目標と各活動及び学校行事の目標の関係を踏まえ、それぞれの活動の特質を生かした全体計画や年間指導計画の作成及び見直しを行う。
- ・特別活動で育成を目指す資質・能力を育むために、同一中学校区内における小・中学校間の連携を推進する。

2 自主的、実践的に取り組む態度を育てる学級活動の工夫

★児童生徒による自主的、実践的な活動が助長されるよう、学級や学校、地域の実態や児童生徒の発達の段階などを考慮した、学級活動の年間指導計画を作成する。

- ・事前指導・事後指導を含む学習過程を工夫する。
※学習過程の例（問題の発見・確認→解決方法の話し合い→解決方法の決定→決めたことの実践→振り返り→次の課題解決へ）
- ・児童生徒が見いだした課題について、意見の違いや多様な考えを認め合い、折り合いを付け「合意形成」したことを実践し、振り返る活動を充実させる。〔学級活動（1）〕
- ・日常生活における問題の原因や対処の方法についての話し合いを生かして、自己の課題の解決方法等を「意思決定」し、決めたことを粘り強く実践できるよう指導を工夫する。〔学級活動（2）（3）〕
- ・自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために「意思決定」して実践することに、自主的、実践的に取り組ませる。〔学級活動（3）〕

3 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

- ・児童生徒による自主的、実践的な活動が助長されるよう、学級や学校、地域の実態、児童生徒の発達の段階などを考慮し、学校の創意工夫を生かした指導計画を作成する。
- ・児童生徒の自発的、自治的な活動を実現させるため、
①児童会活動においては、教師の適切な指導の下で、児童の発意・発想を生かした活動計画が作成できるようにする。
②生徒会活動においては、生徒の自主性、自発性をできるだけ尊重し、生徒が自ら諸活動の特質に応じた活動計画を立てられるよう指導する。
- ・児童生徒一人一人が児童会・生徒会の一員であることを自覚し、教師の適切な指導の下、よりよい生活を築くために自分たちできまりをつくって守る活動などを充実させる。

4 児童の個性の伸長を図り、触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

- ・児童の活動として取り上げるべき具体的な内容、方法、時間などについて、基本的な枠組みを定め、児童の手によって一層具体的な活動計画が立てられるような弾力性、融通性に富んだ指導計画を作成する。
- ・興味・関心をより深く追求しながら、自分たちが計画したことを実現できる満足感や学年が異なる仲間と協力して活動を進められた喜びを感じられるよう指導の工夫をする。
- ・活動を通して育てたい資質・能力を地域と共有し、外部講師や地域の教育力を積極的に活用する。

5 集団への所属感や連帯感を深める学校行事の工夫

- ・学校や児童生徒、地域の実態を踏まえ、内容の精選や重点化を図り、ねらいと育成を目指す資質・能力を明確にした系統的な指導計画を作成する。
- ・児童生徒が積極的に活動できるよう、事前・事後の指導について十分に留意し、指導の効果を高める工夫をする。
①児童生徒に行事の目的や内容等を伝え、意欲をもって活動に取り組めるよう事前指導を工夫する。
②自分のよさや可能性を認識できるような自己評価や相互評価による振り返りを行い、事後指導を充実させる。